医療系図書館員の課題解決に向けた地域発勉強会の成果と課題－千葉県EBM勉強会の進化と広がり

村上 早苗[1)2)]　佐藤 正恵[1)2)3)]　小田伊佐子[1)4)]　山口 直比古[1)2)5)]

1)千葉県EBM勉強会　2)NPO法人日本医学図書館協会(個人会員)
3)千葉県済生会習志野病院図書室 4)東葛病院図書室　5)聖隷佐倉市民病院図書室

勉強会履歴

① 2017年9月
医学情報資料論と
PubMed／医中誌Web
検索中級レベル

② 2017年11月
PubMed中級検索演習

③ 2018年3月
看護系レファレンス
を究める

④ 2018年5月
Google・Google
Scholar使いこなし
／今日の検索指針：
私はこう検索している
2018（看護・がん編）

⑤ 2018年9月
MeSH Perspective &
PubMed検索演習
-目指せ！MeSH &
検索マスター

⑥ 2019年1月
医学論文・看護研究-
Librarianが知っておくべき
こと・論文の種類・読み方
から学術支援まで,
「頼れる司書」を目指そ
う！

⑦ 2019年7月
緊急！PubMedはこう変わ
る？／6Sピラミッドと
データベース使い分け

今後の開催情報をご希望の方はメールでお問い合わせください

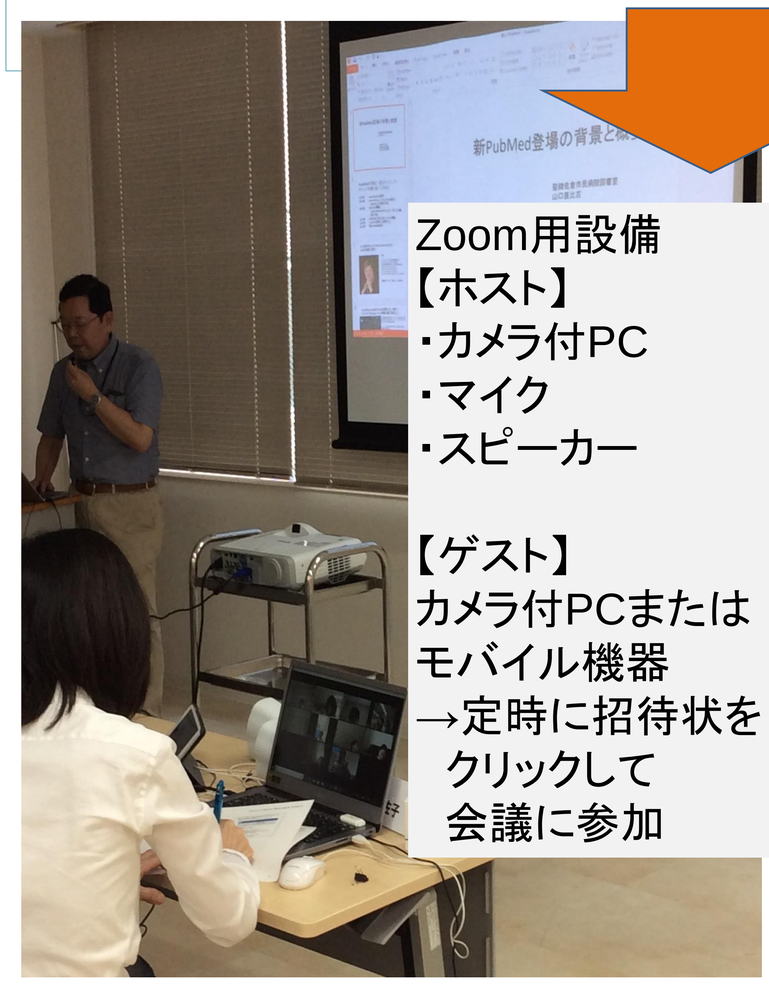
Access
chibaebm@gmail.com
千葉県EBM勉強会

背景と目的

・医療系図書館員には専門的知識や検索スキルが必要
・図書館にはさまざまな運営・雇用形態がある
・雇用形態・所属・館種に関わらず、個人の意志で自由に参加できる勉強会
・実務的な知識・課題解決法・初歩的な質問が気軽にできる場を目指す

方法

・対象：医療系図書館に勤務されている方、テーマに関心のある方
・少人数の検索実習やレファレンス・カンファレンスなど実務に役立つ内容
・JMLA－CEコース認定（参加ポイント・開催記録）
・各回ごとに参加者からの会費で運営（講師料、資料代、Zoom関連費用等）
・全国から参加者が増加　⇒　地理的・経済的・時間的要因を解決したい！
⇒無料オンライン会議システムZoomによるWeb遠隔参加を開始



Zoom用設備
【ホスト】
・カメラ付PC
・マイク
・スピーカー

【ゲスト】
カメラ付PCまたは
モバイル機器
→定時に招待状を
クリックして
会議に参加

成果

■第1回(2017年1月)～第7回(2019年7月)
のべ参加者数112名（うちWeb参加9名）
所属：大学（医学・看護・医療技術等）
・病院　・看護学校・企業

アンケート結果（5段階リッカートスケール）

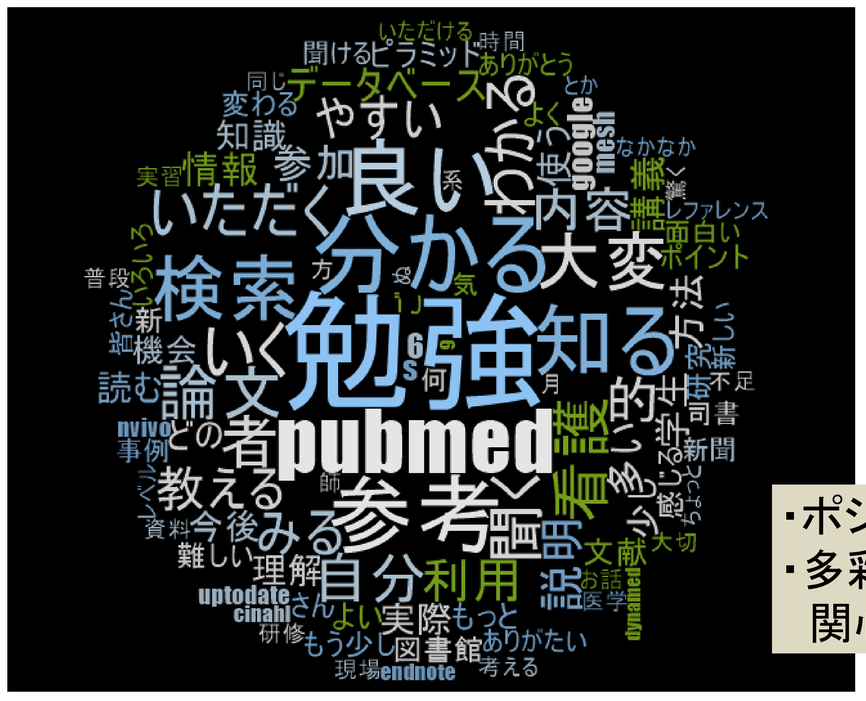
1.参考にならなかった　←→　5. 参考になった

平均4.6

課題

・遠隔参加：安定した通信環境・会場確保
・事務作業の見える化と役割分担・効率化
・テーマ設定

自由記述



・ポジティブ・ワード
・多彩なテーマへの関心が伺える